

別表2

審査における行射の要領（5人立ちの場合：弓道衣着用、和服着用共通）

	1番	2番	3番	4番	5番
甲矢	間をおかず行射する。	1番の「胴造り」の終わる頃立つ。 1番の弦音で取懸け、打起し行射する。	1番の弦音で立つ。 2番の弦音で取懸け、打起し行射する。	2番の弦音で立つ。 3番の弦音で取懸け、打起し行射する。	3番の弦音で立つ。 4番の弦音で取懸け、打起し行射する。
乙矢	4番の弦音で弓を立て矢を番えて待つ。 5番の弦音で立ち、間をおかず行射する。	4番の弦音で弓を立て矢を番えて待つ。 1番の「胴造り」の終わる頃立つ。 1番の弦音で取懸け、打起し行射する。	4番の弦音で弓を立て矢を番えて待つ。 1番の弦音で立つ。 2番の弦音で取懸け、打起し行射する。	5番の弦音で弓を立て矢を番えて待つ。 2番の弦音で立つ。 3番の弦音で取懸け、打起し行射する。	射終われば直ちに弓を立て矢を番えて待つ。 3番の弦音で立つ。 4番の弦音で取懸け、打起し行射する。

## 審査における行射の注意事項（弓道衣着用、5人立ちの場合）

- 1 射場への入退場にあたっては、必ず上座に意を注ぎ、順次礼（揖）をする。
- 2 本座に進み、跪坐し、揃って揖を行い、射位に進む。
- 3 射位で跪坐し、脇正面に向きを変え、弓を立て矢を番えて待つ。
- 4 射終わったら1番より順次退場する。
- 5 次の控えは、3番の乙矢の弦音で入場し、本座に進み跪坐し、5番の弦音で揃って揖を行い、最後の射手が後退するとき射位に進む。
- 6 行射の前後動作が殊更に間延びしないようにする。
- 7 立射と坐射で動作が違う場合は、立射の射手は坐射の射手の動作に合せること。要領は「弓礼・弓法問答集改訂版（平成28年4月1日施行）巻末『立射の作法』」を参照すること。

## 審査における行射の注意事項（和服着用、5人立ちの場合）

- 1 射場への入退場にあたっては、必ず上座に意を注ぎ、順次礼（揖）をする。
- 2 本座に進み、跪坐し、揃って揖を行い、脇正面に向きを変え、男子は肌ぬぎ、女子は襷さばきを行う。的正面に向きを変え、射位に進む。
- 3 射位で跪坐し、脇正面に向きを変え、弓を立て矢を番えて待つ。
- 4 射終わったら1番より順次退場する。
- 5 次の控えは、5番の甲矢の弦音で入場し、以下（注）2に準ずる。5番の弦音で立ち、最後の射手が後退するとき射位に進む。
- 6 行射の前後動作が殊更に間延びしないようにする。
- 7 立射と坐射で動作が違う場合は、立射の射手は坐射の射手の動作に合せること。要領は「弓礼・弓法問答集改訂版（平成28年4月1日施行）巻末『立射の作法』」を参照すること。